

あいち森と緑づくり事業についてのアンケート 【県民用・県政お届け講座用】

はじめに（アンケートの実施にあたって）

◆「あいち森と緑づくり税」とは

森と緑が持つ環境保全や災害防止などの様々な働きを高めるため、森と緑づくり事業の財源として、2009（平成21）年度から県民税均等割の額に一定額を上乗せして、ご負担いただいているものです。

（税の徴収期間は、現在、条例で2023（令和5）年度までと定められています。）

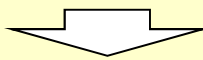
- 個人年額 500 円増し
- 法人 5%増し（年額 1,000 円～40,000 円増し）

◆「あいち森と緑づくり事業」とは

あいち森と緑づくり税を財源として、山間部における人工林の間伐や都市の緑化など、県内の森林、里山林、都市の緑をバランスよく守り育てる新たな取組として、愛知県が独自に行っている事業です。

◆あいち森と緑づくり事業の考え方

- 森と緑は、環境保全や災害防止等の様々な働きを通じて、私たちの安心、安全で快適な暮らしを支えている
- 森林・里山林の手入れ不足や都市の緑の減少により、その働きが衰えてしまうことが心配されている



既存の森と緑づくり施策の推進
（森林整備事業、都市公園整備事業等）

+

森と緑づくりのための新たな施策
【あいち森と緑づくり事業】

バランスよく整備・保全

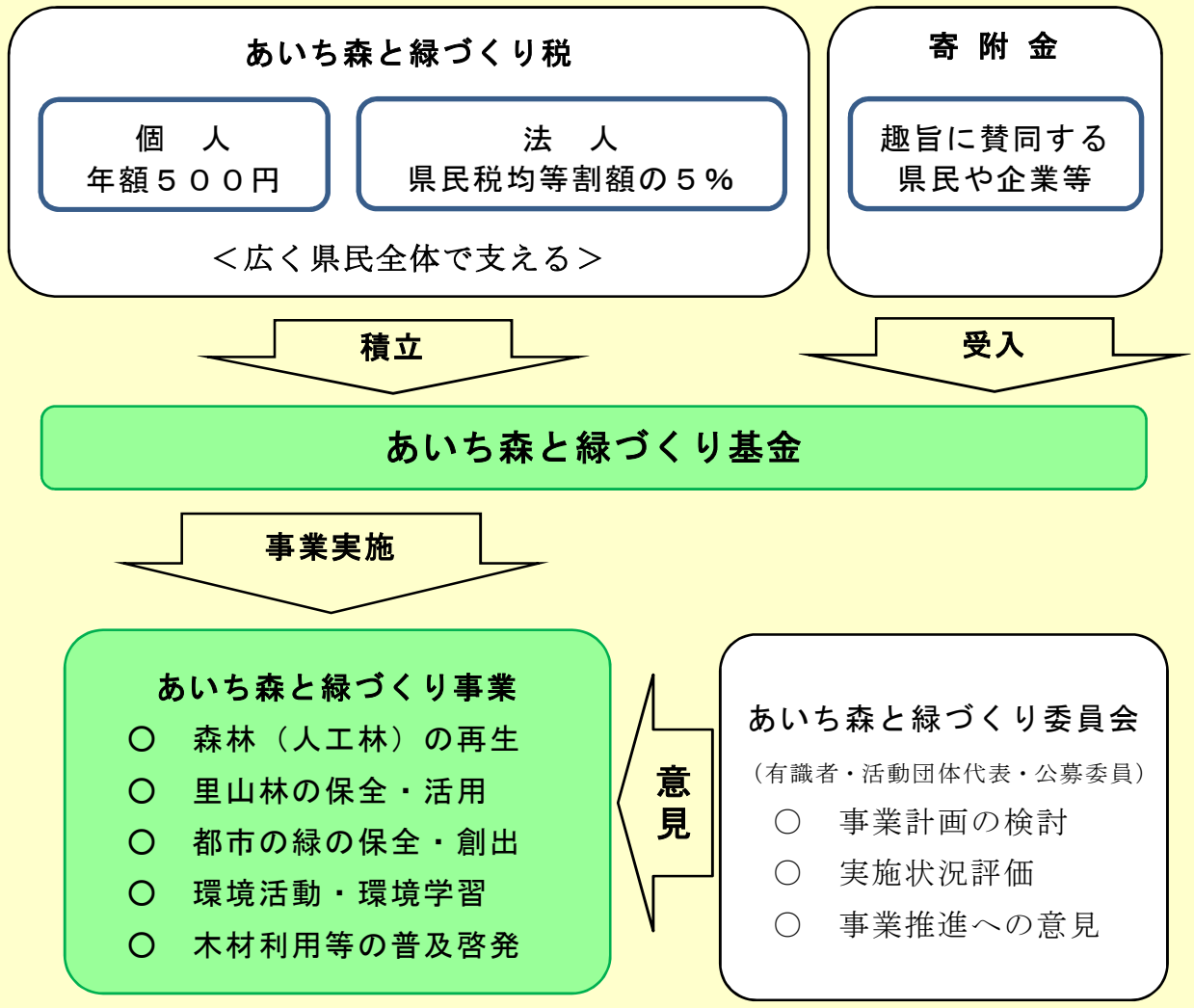


【事業理念】

- 森と緑の公益的機能の発揮
- 森と緑を県民共有の財産として皆で支える

山から街まで緑豊かな愛知の実現

◆事業の仕組み



<アンケートに出てくる用語の解説>

本文中に※印を付しています。(同じことばが何度も使われている場合は、一番始めのことばに※印を付しています。)

OSDGs (エス・ディー・ジーズ)

SDGsは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題に対し、世界共通の17のゴール(目標)と、目標ごとの169のターゲットを、世界のみならず2030年までに解決していこう」という、世界共通の計画・目標です。

※「持続可能な」という部分は、「人間の活動が自然環境に悪影響を与えず、その活動を維持できることを意味しています。(改善する動きを)長期間に渡って、実施し続けられる」という意味です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



イラスト出典：林野庁(森林・林業白書から転載)

- 1 貧困をなくそう「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」
- 2 飢餓をゼロに「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」
- 3 すべての人に健康と福祉を「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」
- 4 質の高い教育をみんなに「すべての人々へ包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」
- 5 ジェンダー平等を実現しよう「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及

び女児の能力強化を行う」

- 6 安全な水とトイレを世界中に「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」
- 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」
- 8 働きがいも経済成長も「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう「強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び技術革新の推進を図る」
- 10 人や国の不平等をなくそう「各国内及び各国間の不平等を是正する」
- 11 住み続けられるまちづくりを「包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する」
- 12 つくる責任 つかう責任「持続可能な生産消費形態を確保する」
- 13 気候変動に具体的な対策を「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」[注釈 1]
- 14 海の豊かさを守ろう「持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」
- 15 陸の豊かさも守ろう「陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」
- 16 平和と公正をすべての人に「持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する」
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう「持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」

○カーボンニュートラル

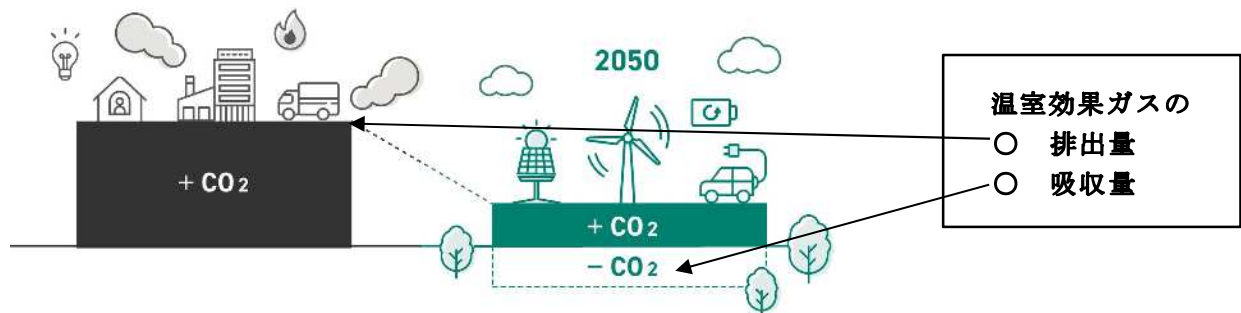
※温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」※ から、植林、森林管理などによる「吸収量」※ を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

※ここでの温室効果ガスの「排出量」「吸収量」とは、いずれも人為的なものを指します。

カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減 並びに吸収作用の保全及び強化をする必要があります。



イラスト出典：環境省（脱炭素ポータル カーボンニュートラルから転載）

○間伐（かんばつ）

木の成長に応じて、密植された森林の木を間引きして伐採する作業のことで、残した木の生長を促すとともに、森林の様々な働きを高める効果があります。

○公益的機能（こうえきてききのう）

水を蓄えたり、災害を防止したり、生物多様性を保全したり、ヒートアイランド現象を緩和したりするなど、森と緑が持つ様々な働きのこと。

○里山林（さとやまりん）

かつて人々が暮らしの中で、薪（まき）や落ち葉などを燃料や肥料に利用することで維持管理されてきた森林で、県内ではコナラなどの広葉樹が生える雑木林となっています。

○人工林（じんこうりん）

植林など人の手によって造られた森林で、県内の三河山間部では住宅などで広く使われているスギやヒノキなどの針葉樹が植えられています。

○水源かん養（すいげんかんよう）機能

土壌が、スポンジのように雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川へ送り出すことにより洪水や渇水を緩和したり、水質を浄化したりする働きのこと。

県民アンケート 目次

ページ

I 森と緑の働きについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

II 「あいち森と緑づくり税」について・・・・・・・・・・ 2

III 人工林整備事業について

III-① 人工林整備（間伐）・・・・・・・・・・・・・・・・ 〇

III-② 花粉症対策苗木への植え替え・・・・・・・・・・ 〇

IV 里山林整備事業について・・・・・・・・・・・・・・・・ 〇

V 都市緑化推進事業について・・・・・・・・・・・・・・・・ 〇

VI 環境活動・学習推進等事業について・・・・・・・・・・ 〇

VII 木材利用の推進に向けた普及啓発事業について・・ 〇

VIII 「あいち森と緑づくり事業」の今後について・・ 〇〇

（ご自身について）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 〇〇

現在の取組

アンケート調査票【県民用・県政お届け講座用】

※以下の問いについて、あなたの考えに一番近いもの（番号）を○で囲んでください

I 森と緑の働きについて

本県には、三河山間部の森林（人工林[※]）、名古屋圏を中心とする都市の緑、その中間にある里山林[※]と、守り育て将来に引き継いでいかなければならない森と緑がたくさんあります。

問1 森と緑は、環境の保全や災害の防止など様々な公益的機能[※]により、私たちの暮らしを支えています。あなたは、このことについて知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 近年、木材価格の低迷等により、森林所有者による人工林の手入れが不足したり、開発等により都市の緑が減少するなど、森と緑の持つ様々な公益的機能がだんだん低下していき、心配されています。

あなたは、このことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくことについて、必要と思いますか。（できれば理由もご記入ください）

1. 必要と思う
2. 必要としない

【理由】

（理由を記入するスペース）

Ⅱ 「あいち森と緑づくり税」について

問1 このアンケート調査の前に「あいち森と緑づくり税」のことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 「あいち森と緑づくり税」を使った人工林の間伐^{*}や都市緑化などの森と緑を守り育てる取組を必要と思いますか。（できれば理由もご記入ください）

1. 必要と思う
2. 必要と思わない

【理由】

()

次ページからは、「あいち森と緑づくり事業」の個々の事業についてお尋ねします。

Ⅲ 人工林整備事業について

Ⅲ-① 人工林整備（間伐）

「人工林整備事業」： 水源かん養*、土砂の流出防止等の公益的機能を発揮させるため、林業活動では整備が困難なために手入れの遅れたスギ・ヒノキの人工林を間伐する事業。

問1 間伐は、森林（人工林）の公益的機能を高めることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 間伐は、二酸化炭素吸収量を増やす（カーボンニュートラル*の取組に貢献）とともに、SDGs*の様々なゴールにつながっていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 あいち森と緑づくり事業で、林業活動では整備が困難な人工林を間伐していることを知っていますか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問4 あいち森と緑づくり事業による人工林の間伐を、見たこと、聞いたことがありましたか。

1. 見たこと、聞いたことがあった
2. 見たことも聞いたこともなかった
3. 間伐は行われていたが、あいち森と緑づくり事業かどうかは分からなかった

問5 あいち森と緑づくり事業で、今後も人工林の間伐を続けた方がよいと思いますか。（できれば理由もご記入ください）

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】 ()

問6 あいち森と緑づくり事業では、防災・減災対策を進めるため、道路沿い、河川沿い、集落周辺の森林（人工林の間伐に加えて、広葉樹も含む。）の整備を行うことができます。今後も防災・減災対策を続けた方がよいと思いますか。

（できれば理由もご記入ください）

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問7 あいち森と緑づくり事業では、道路沿いの伐倒木を費用はかかりますが、森林外の安全な場所まで移動した後、木材として有効利用しています。今後も伐倒木の有効利用を続けた方がよいと思いますか。

（できれば理由もご記入ください）

1. 道路沿いで伐倒した木を有効利用した方がよい
2. 道路沿いに限らず、伐倒した木をもっと有効利用した方がよい
3. 伐倒した木を有効利用しなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問8 人工林整備（間伐）について、ご意見、ご感想などがありましたら自由にお書きください。

()

Ⅲ 人工林整備事業について

Ⅲ-② 花粉症対策苗木への植え替え

「次世代森林育成事業」： 主伐後に行う花粉の少ないスギ・ヒノキ品種や広葉樹（以下、「花粉症対策」という。）の苗木を植栽して若返りを図り、植栽時の獣害対策及び保育等を行う事業

問1 森林が若返ると、森林（人工林）の一部の公益的機能※が高まることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 森林を若返らせることは、二酸化炭素吸収量を増やす（カーボンニュートラルの取組に貢献）とともに、SDGsの様々なゴールにつながっていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 あいち森と緑づくり事業で、花粉症対策苗木への植え替えを進めていることを知っていますか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問4 あいち森と緑づくり事業による花粉症対策苗木への植え替えを、見たこと、聞いたことがありましたか。

1. 見たこと、聞いたことがあった
2. 見たことも聞いたこともなかった
3. 植栽は行われていたが、あいち森と緑づくり事業かどうかは分からなかった

問5 あいち森と緑づくり事業で、今後も花粉症対策苗木への植え替えを続けた方がよい
と思いますか。(できれば理由もご記入ください)

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問6 花粉症対策苗木への植え替えについて、ご意見、ご感想などがありましたら自由
にお書きください。

()

IV 里山林整備事業について

「里山林整備事業」： 放置された里山林を対象に、生活環境の保全や災害の防止、生物多様性の保全などの公益的機能を回復させるため、枯れて危険な木の抜き伐りや侵入竹の伐採などの森林の手入れ、作業道具の導入、作業小屋や管理道などの施設整備を行う事業

問1 生活環境の保全や災害の防止、生物多様性の保全などの公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 里山林を手入れすることは、二酸化炭素吸収量を増やす（カーボンニュートラルの取組に貢献）とともに、SDGsの様々なゴールにつながっていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 あいち森と緑づくり事業で、里山林の整備をしていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問4 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、見たこと、聞いたことがありましたか。

1. 見たこと、聞いたことがあった
2. 見たことも聞いたこともなかった
3. 里山林の整備は行われていたが、あいち森と緑づくり事業かどうかは分からなかった

問5 あいち森と緑づくり事業で今後も里山林の整備を続けた方がよいと思いますか。

(できれば理由もご記入ください)

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

(

)

問6 里山林整備について、ご意見、ご感想などがありましたら自由にお書きください。

(

)

V 都市緑化推進事業について

「都市緑化推進事業」： 生物多様性の保全やヒートアイランドの緩和など、緑の持つ公益的機能を高めるために都市の緑を守り育てるための事業。

問1 都市の緑には「ヒートアイランド現象の緩和」「生物多様性の保全」「火災延焼防止」などの多様な機能があることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 あいち森と緑づくり事業で、都市の緑を増やす取組を行っていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問3 あなたの住まいの周辺（半径1～2km程度）の緑についてどのように感じますか。

1. 増えてきていると感じる
2. 減ってきていると感じる
3. 変わらない

問4 今後、さらに都市の緑を良くしていくために、愛知県や市町村はどのような取組を行えばよいと思いますか。（複数回答可）

1. 家の庭や生垣の緑化の助成
2. ビル（マンション、オフィスビル等）の屋上緑化や壁面緑化、駐車場緑化への助成
3. 道路の街路樹や中央分離帯の緑化
4. 公園緑地の整備
5. 学校や市役所など公共施設の屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化
6. 既存民有林の樹林地の買い取り（公有地化）・保護・保全・整備
7. 公園の竹藪（たけやぶ）の伐採などの樹林地整備
8. 学校の校庭などの芝生化
9. ビオトープ※の整備
10. ガーデニングなど身近な緑化についての相談・研修会
11. 花や緑に関するイベントや講演会などによる普及啓発
12. 市民や企業が行う植樹祭や緑化活動への助成
13. その他（)

問5 あなたが、今よりも都市の緑に関心や関わりを持つためには、どのような取組が効果的だと思いますか。(複数回答可)

1. 苗木や花苗の配付
2. ガーデニングなどについての緑化相談や緑化研修会
3. 緑や花に関するイベントや講演会などの普及啓発事業
4. 一般参加できる植樹祭や緑化体験活動
5. 緑化に関する情報の発信
6. 緑と花の活動団体に対する表彰
7. その他

[]

問6 あいち森と緑づくり事業で今後も都市の緑を増やす取組を続けた方がよいと思いますか。(できれば理由もご記入ください)

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

[]

問7 都市の緑を増やし守り育てることは、二酸化炭素吸収量を増やす(カーボンニュートラルの取組に貢献)とともに、SDGsの様々なゴールにつながっていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問8 都市緑化推進について、ご意見、ご感想などがありましたら自由にお書きください。

[]

VI 環境活動・学習推進事業について

「環境活動・学習推進事業」： 市町村やNPO、ボランティア団体等が行う自発的な「森と緑の保全活動」や「環境学習」を公募し、事業実施に必要な経費（資材の購入、外部講師の謝金など）を支援する事業。

問1 里地・里山などで間伐、下草刈り、植樹などを行う「森と緑の保全活動」や、森林作業の体験教室や自然観察会といった「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 これまでに問1のような「森と緑の保全活動」や「環境学習」に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある
2. 参加したことがない

問3 あなたの身の回りで問1のような「森と緑の保全活動」や「環境学習」が実施された場合、参加したいと思えますか。

（できれば理由もご記入ください）

1. 参加したい
2. 参加したくない

【理由】（

問4 あいち森と緑づくり事業で今後も「森と緑の保全活動」や「環境学習」を行うNPOやボランティア団体等の支援を続けた方がよいと思えますか。

（できれば理由もご記入ください）

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】（

問5 「森と緑の保全活動」や「環境学習」は、二酸化炭素吸収量を増やす（カーボンニュートラルの取組に貢献）とともに、SDGsの様々なゴールにつながっていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問6 「森と緑の保全活動」や「環境学習」への支援について、ご意見・ご感想などがありましたら自由にお書きください。

[]

Ⅶ 普及啓発事業について

Ⅶ-① 木材利用促進

森林整備の意義や、愛知県で生産された木材を活用することの効果について、普及啓発をするため以下の事業を実施しています。

「木の香る都市(まち)づくり事業」： 多くの県民の方が利用する PR 効果の高いモデル的な施設での愛知県産木材の利用（木造化・内装木質化・木製備品の導入）を支援する事業。

愛知県産の木材が使われることにより、地域の森林整備が進むことが期待されます。

問 1 愛知県産の木材製品を使うことが、愛知県内の森林整備につながることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 2 木材を利用することは、二酸化炭素吸収量を増やす（カーボンニュートラルの取組に貢献）とともに、SDGs の様々なゴールにつながっていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 3 あいち森と緑づくり事業で、PR 効果の高い施設に愛知県産木材を使って木造化・内装木質化・木製備品の導入を進めていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 4 木材の積極的な利用は SDGs につながる取組として評価されています。市町村以外でも木材を使った施設をつくることを期待しますか。

1. 大いに期待する
2. 期待する
3. 期待していない

問5 あなたの周りで愛知県産木材を使った施設等が導入されていますか。

1. 導入されているのを見た
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問6 愛知県産木材を使った木造化・内装木質化・木製備品などの導入は、森林整備の意義や、木のあたたかさを知るきっかけとして有効だと思いますか。

(できれば理由もご記入ください)

1. 有効だと思う
2. 有効と思わない
3. 分からない

【理由】

()

問7 あいち森と緑づくり事業で今後も愛知県産木材を利用する取組を続けた方がよいと思いますか。

(できれば理由もご記入ください)

1. このまま続けた方がよい
2. もっと行った方がよい
3. 続けなくてよい
4. 分からない

【理由】

()

問8 木材の利用を促進する取組(木の香る都市(まち)づくり事業)について、ご意見、ご感想などがありましたら自由にお書きください。

()

最後に、「あいち森と緑づくり事業」の今後についてお尋ねします。

Ⅷ 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

問1 2024（令和6）年度以降も「あいち森と緑づくり税」を継続して、森と緑を守り育てる取組を行うことについてどのように思いますか。

（できれば理由もご記入ください）

1. 賛成
2. 反対

【理由】

（理由を記入するスペース）

問2 「あいち森と緑づくり税」を2024（令和6）年度以降も継続する場合、個人の方の負担はどの程度が適当と思いますか。

1. 現行の年額500円
2. 金額を引き上げる（ 円）
3. 金額を引き下げる（ 円）

⇒次ページへ

問3 「あいち森と緑づくり事業」を2024（令和6）年度以降も継続する場合、どのような取組を行えばよいと思いますか。（複数回答可）

1. 高齢化した人工林を若返らせる取組（木を伐って植える）
2. 県産木材の利用促進
3. 広葉樹を植栽する森づくり
4. シカやイノシシなどの獣害対策
5. 県内の人工林の間伐
6. 県内の里山林の整備
7. 景観づくりのための森と緑づくり
8. 防災のための森と緑づくり
9. 被災した森と緑の復旧
10. 生物多様性の保全
11. 都市に残る緑の保全（守る）
12. 都市における緑の創出（増やす）
13. 森と緑づくりに携わる人材の育成
14. 森と緑づくりに関するNPO等の活動支援
15. 森や緑（花を含む）に関するイベントや講演会などによる普及啓発
16. ガーデニングなど身近な緑化についての相談・研修会
17. 都市と山村の交流
18. その他

[]

問4 「あいち森と緑づくり税」、「あいち森と緑づくり事業」についてご意見、ご感想などがありましたら自由にお書きください。

[]

○ご意見をお聞きするのはこれで終わりですが、回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞きします。該当する番号に○印を付けてください。(○はそれぞれ1つ)

(1) 【年齢】 あなたの年齢(満)はおいくつですか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 |
| 7. 65歳以上 | | |

(2) 【地域】 あなたのお住まいの地域はどこですか。

1	名古屋地域	名古屋市
2	尾張・海部地域	一宮市・瀬戸市・春日井市・津島市・犬山市・江南市・小牧市・稲沢市・尾張旭市・岩倉市・豊明市・日進市・愛西市・清須市・北名古屋市・弥富市・あま市・長久手市・東郷町・豊山町・大口町・扶桑町・大治町・蟹江町・飛島村
3	知多地域	半田市・常滑市・東海市・大府市・知多市・阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町
4	西三河地域	岡崎市・碧南市・刈谷市・安城市・西尾市・知立市・高浜市・幸田町
5	豊田加茂地域	豊田市・みよし市
6	新城設楽地域	新城市・設楽町・東栄町・豊根村
7	東三河地域	豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市

(3) 【職業】 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。パートタイマーや内職をしている方も勤め人としてお答えください。(複数のご職業をお持ちの方は、主なもの1つに○を付けてください。)

自営業	勤め人	無職
1 農林漁業	4 管理職	8 家事専業
2 商工サービス業	5 専門技術職	9 学生
3 自由業	6 事務職	10 その他
	7 労務職	

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。